

研究課題名	外来化学療法を受けている患者への質問票を活用した不安の抽出と支援介入の取り組み
実施責任者	所属・職名：化学療法センター 看護師
	氏名： 大西 紀子
研究の概要	化学療法センターは、患者の日常生活を維持しながら化学療法を通院で行うことができる快適で安全な環境を提供するとともに、がん患者の相談や指導を行うことで心身の安定を図る部署でもある。化学療法を受ける患者がどのように不安を持って通院しているか、化学療法センター看護師としてどのように不安の内容を把握して介入すればよいのか迷うことがあった。化学療法センター看護師の主観であるが、普段の患者との会話の中で、よく相談がある内容からカテゴリー化して「病気」「仕事と家庭」「社会的疎外感」「自分らしさ」「経済面」の5つの方面からの質問票を作成して介入のきっかけ作りとした。質問票を渡した218名中200名の回収、5つの項目の不安の程度を確認し、不安の程度が高い項目に対して、カンファレンスを開催し必要な支援介入を検討、実施した。介入後、比較的状态が安定した第5～6クール目に再度質問票を記載してもらい、患者の持つ不安がどのように変化したか後ろ向きに調査をしたので報告する。
対象となる個人情報	性別、年齢、がん種、質問票へ記載した不安内容
実施の期間	西暦 2022 年 10 月 1 日より
	西暦 2024 年 3 月 31 日まで
研究対象	外来化学療法室にて化学療法をうけている 70 歳以下のがん患者